

■タイトル

リフト作業範囲の明確化

■概要

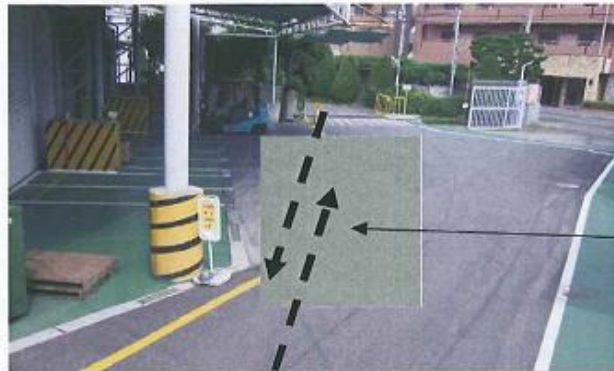
●物流倉庫周辺のフォークリフト作業範囲が従来不明確であったので、道路にラインを引き明確化した。さらに注意喚起の表示コーンを設置してうっかり防止も図った。改善効果として注意意識向上、強いては人間関係も良好になり安全意識向上が図れた。

第7回 目で見える管理コンテスト応募用紙

グループ名	物流グループ
作品名	リフト作業範囲の明確化

【写真】

【改善前】



従来の近道歩行ルート

【改善後】



【アピールポイント】（特徴、「油断と過信」未然防止の効果など自由に記載下さい。）

【改善場所】 DS-13号倉庫前のリフト作業範囲

改善前

- ・改善前は、線引きが消えかけてリフト作業範囲と道路の区別が不明瞭であった。
- ・くの字型の特殊な形状の道路で、車両以外の歩行者、自転車は近道行為でテントシート屋根がある倉庫の内側を通行する習性があり、リフトマンも認識して作業しているがヒヤリ体験が絶えなかった。（協力会社の往来が非常に激しい）

改善後

- ・黄線で道路と倉庫のリフト作業範囲を明確にした事で、歩行者は歩道帯、自転車・車は道路通行の認識が徹底されてヒヤリ発生がゼロとなった。
- ・さらに事務棟側と鉄工作業場側の要所に注意喚起の表示コーンを設置して（ついうっかり）の防止も図った。

注意喚起表示 表 関係以外立入り禁止
裏 フォークリフト作業区域

- ・その他の改善効果として、リフトマンと歩行者等との要注意場所としての認識が高まり信頼関係が増し、人間関係も良好となり安全意識の向上も図れた。